



小田原城北 ロータリークラブ

例会場及事務所

毎週 火曜 12時30分
〒250-0211
小田原市鬼柳172-9
小田原卸センター内会議室
TEL 0465-37-1222
FAX 0465-37-7377
http://www.odawarajhrc.jp
E-MAIL :info@odawarajhrc.jp



DISTRICT No.2780 KANAGAWA JAPAN

BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS 地域を育み、大陸をつなぐ

第1695回

点 鐘 中村 維孝会長
司 会 金山 慶昭副幹事
斉 唱 「手に手つないで」

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
3月15日	52(48)	38	0	79.17%
3月8日	52(48)	40	1	85.42%
3月1日	52(48)	38	2	83.33%

【出席報告】菊地 義雄委員

【欠席者】 10名

佐須 智明・西 寛・杉本 博愛・齋藤 永
須藤 公司・木村 啓滋・内山 修一・田代 博信
所 真人・石内 正彦

【前々回メーキャップ】

村瀬 雅寛 (小田原RC)

《慶事祝福》

【誕生日】

竹村 堅一郎さん (3月17日)

【奥様誕生日】

安藤 はな子様 (3月16日)



会長挨拶

中村 維孝会長

大変なことが起こってしまいました。日本で観測史上最大の地震が発生し、その影響で巨大津波が日本列島を襲い、甚大な被害が発生いたしました。被害にあわれた方に心よりのお見舞いを申し上げますとともに、一人でも多くの人命が救出されることを心より祈念したいと思います。ここ数日何もできないもどかしさを感じる毎日でした。私たちロータリアンとして、これから何ができるのかを皆様と真剣に考えたいと思います。おそらく被災さ

2011年3月15日(晴)第1539号

れた方々は数百万人に上り、お亡くなりになったり怪我をされた方も数万人になると思います。また、福島原発の行く末もとても心配です。

今回の大地震災害は、東北、あるいは東日本だけの震災ではなく、日本という国が未曾有の国難に遭遇している！と覚悟すべき事態だと思います。この大国難を、たくましく、優しい心をもって乗り切っていかなければと思います。

張り切って、元気を出して、はげましあって、優しい心で労(いたわ)りあい、人生を考え、国家を考え、未来を構築していくことが必要なのではないでしょうか。

幹事報告

竹村 堅一郎幹事

- ①地区より東北関東大震災の義援金ご協力のお願いが来ておりますが、これについては、この後のクラブ協議会にて協議致します。
- ②先週のニュージーランド義援金43,000円を地区に送らせていただきました。
- ③本日はクラブ協議会に変更させていただきましたので、卓話予定のチャリティープロジェクト&新世代の発表は29日に延期させていただきます。
- ④35周年実行委員会は予定通り、例会終了後に開催されますので、担当部会の方はお集りください。

委員会報告

雑誌・広報委員会 大川 久弥委員長

ロータリーの友 3月号の縦書きの方の25・26pに11月に行われました、2590地区と2780地区合同親睦テニス大会開催されたとの記事が載っております。当クラブの

勝亦さんが幹事をやっておりますので是非お目を通していただければと思います。

ローターアクト支援プロジェクト 柳井 渉リーダー

先週の13日に「宗沢公園」で記念事業を行う予定でしたが、地震の影響により20日に延期になり、タイムカプセルと植樹はしたいとの報告がありましたのでよろしくお願いたします。

ニコニコ箱

釘持 悟委員長

竹村 堅一郎さん 誕生日のお祝いをありがとうございます。

清 康夫さん この度の東北関東大地震、想像もつかない出来事におどろきました。とても残念で仕方ありません。当社5営業所東京から富士、無事でした。この卸団地の36企業も皆無事でした。理事長としてほっとしました。

卓話

「クラブ協議会」

中村 維孝会長

まずは、35周年記念式典をどうするか？ということですが本日の例会前の11時から臨時理事会を開催させていただきました。まず、理事会としての結論をお話させていただきます。そのあと皆様からご意見・ご提案を頂きたいと思います。理事会の中では今般の状況を鑑みて4月10日の35周年記念式典は中止にしようという事に決定いたしました。今年度中に35周年の報告会のような形を簡素に開かせていただいて、そして懇親会のようなものは自粛をして、この過去5年間の歴史を次に伝えられるような報告会を出来たら良いのではと、期日は決まっておりますが開催させていただきたいと思います。既に進んでいる事業は、そのまま実行して後に残していきたいと思います。そして、今回の35周年記念式典を催すにあたり、皆様からお預かりしている後期1万円を含め予算を計上していますが、必要最低限の支出に抑え、その残りをロータリーとして東北の被災をされた方への義援金に出来ればと考えております。このように理事会にて決定したのですが皆様のご意見をいただければと思います。意見がございませんので理事会通り35周年記念式典は中止とさせていただきたいと思います。

次にこの東北関東大震災につきまして私達ロータリアン

として何が出来るかという事を皆様からご意見・ご提案を頂きたいと思います。まず、井上ガバナー補佐から地区の方がどのような動きなのかをお話して頂きたいと思っています。

井上 寛ガバナー補佐

クラブには義援金のお願ということで回っておりますが、実は昨日この件で緊急ガバナー補佐会議を行う予定でしたが計画停電により中止になりました。その時の議題は皆様方からロータリー財団に毎年寄付をしていただいておりますが、その寄付の50パーセントが3年後に地区の方に返ってくる、いわゆるDDFというものですがこの金額がかなりのものになります、これを義援金に使用して現地の人の支援にしたいという動きでガバナー、ロータリー財団の委員長とで協議をされておりますので、近々のうちに結論が出ると思います。

小田原城北ロータリーとして出来る事についての意見

- 義援金の議論をする前にロータリーとして何が出来るかということをごく皆で考えた方が良いのでは。
- 段階を分けてでも早く義援金を出した方が良いのでは。
- 各店頭、事業所にポスターを貼りロータリーを窓口にして義援金を集める。1,000円とか2,000円など入れて頂いたお客さんには受付伝票をつくり、住所等を書いていただき控を渡す。
- 何品か決めて各メンバー物資の支援も行った方が良いのでは。

今回の災害については復興に相当長期間かかると思いますので、まずは早くやる事、それから継続的に色々な形でやる事が大事だと思っております。ということで1週間の中で予算立てをしましてまず第1段としてやっていきたいと思っています。また、継続していけるような義援金を会員を中心に各店頭、事業所で呼びかけをしていただいで継続的にやっていきたいと思っています。



ガンバノ東北

次回3月29日は「チャリティープロジェクト&新世代発表」です。